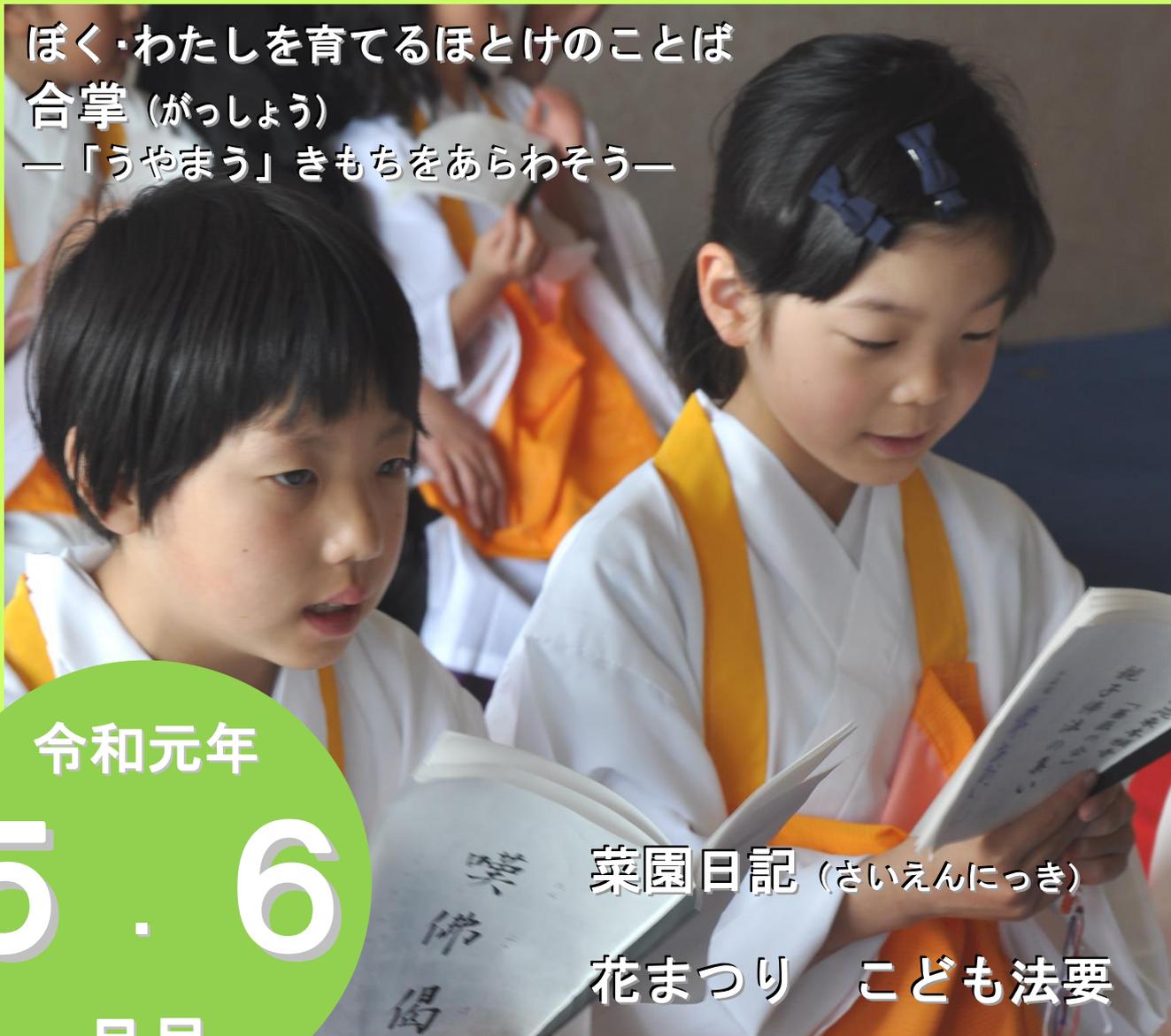


だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことば

合掌（がっしょう）

—「うやまう」きもちをあらわそう—



令和元年

5 . 6

月号

菜園日記（さいえんにっき）

花まつり こども法要

東山浄苑東本願寺発！パパママこどものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる子育ては、とても尊い大事なことです。いい子になってほしい、と思いながらも、ほんとうのやさしさ、かしこさ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのとも

しびになりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば : 「合掌 (がっしょう) — 「うやまう」きもちをあらわそう— 」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

●くらしのなかの「合掌」

「合掌」ということばを今までに聞いたことはありますか？ 「掌」は「てのひら」ともよむ漢字です。よんで字のごとく「合掌」とは、両手のてのひらとてのひらを合わせることをいいます。

みなさんのふだんの生活のなかで、この「合掌」をするのはどんな場面でしょうか？ ちょっと思い返してみましよう。

① 「いただきます」と「ごちそうさま」

ごはんの前には「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」。もちろんよいこのお友だちは、おうちでも学校でも、きちんとできていますね？ そのときに手と手を合わせて「合掌」をすると思います。わたしたちがごはんを食べられるのはあたりまえではなく、まわりのいろいろなものや人、仏さまからいただくご恩のおかげですので、それらへの感謝^{かんしゃ}のこころをあらわしているわけですね。



② あやまる、お願いする、お礼を言う

わるいことをしたり人にめいわくをかけた時、「ごめんなさい、このとおり！」と頭を下げてあやまり、手を合わせるジェスチャーをすることがあります。また、お願いやたのみごとをする時、お礼を言う時などにも、相手にむけて手を合わせます。



③ おまいり

お寺や神社へおまいりする時、お盆にお墓まいりする時などにも、仏さまや神さま、あるいはご先祖^{せんぞ}さまに対して、うやうやしく合掌します。



● 「ナマステ」と「南無阿弥陀仏」^{なむあみだぶつ}

これら「合掌」の風習は、もともと仏教といっしょに、ずっと昔のインドから日本へやって来たものです。

今でもインドでは、「こんにちは」とあいさつする時、「ナマステ」と言いながら手を合わせ小さくおじぎをします。おなじくお別れをする際にも、「さようなら」のあいさつとして「ナマステ」と言いながら合掌します。朝でも夜でも使えるべんりなあいさつです。また、「ありがとう」をあらわす時にも使ったりします。

「ナマステ(namaste)」の「テ(te)」は「あなたに」という意味、そして「ナマス(namas)」は「^{けいれい}敬礼をする」「うやまう」という意味のサンスクリット語(昔のインドのことば)がもとになっています。つまり、「ナマステ」=「あなたのことをうやまいます」と言いながら、手を合わせているわけですね。

じつはこの「ナマス」ということばが、お念仏、「^{なむあみだぶつ}南無阿弥陀仏」の「^{なむ}南無」になりました。仏教がインドから中国をへて日本に入ってくる時、ナマス、ナモ一の音を漢字「南無」であらわしたのです。

「^{きみょう}南無」は「^{きえ}帰命」ということばにも言い換えられ、「^{きえ}帰依します」「^{おたのみ}おたのみします」「^{すべてを}すべてをおまかせします」という意味になります。すなわち「南無阿弥陀仏」とは、「わたしは^{あみだ}阿弥陀さまの教えを信じ、すべてをおまかせします」という感謝のことばといえましょう。そして、このいちばん根っこのところには、阿弥陀さまを「うやまう」きもちがあります。



● 「うやまう」きもちをあらわす大切さ



はじめに、みなさんの生活のなかには合掌をする場面がいろいろあるということ、いくつかの例をあげてかくにんしました。なにげないしぐさのようですが、そのおくには相手に対する^{そんちよう}尊重/^{そんけい}尊敬のこころ——相手のことをうやまい、大切に^{きもち}するきもちがこめられていることがわかりましたね。

わたしたちのごはんを作ってくれた人、口に入るお米やお肉や野菜、まわりの人たち……そのほかにも様々なものからいただいている恩にきづき、だいじにする姿勢をやさないましょう。

また、あらゆる恩のおおもとには、わたしたちのことを見守ってくださっている阿弥陀さまの大きなご恩の存在があります。ですから、わたしたちはそうしたご恩への「ありがとう」のきもち、うやまいのきもちをあらわすため、阿弥陀さまの前で手を合わせ「南無阿弥陀仏」ととなえるのです。

ところで、せっかく「うやまう」きもちをこころの中にもっていても、それをちゃんと外にあらわさなくては、相手に伝わりませんね。とくにお寺やお墓におまいりする時など、仏さまへの^{がつしやう}合掌礼拝(手を合わせて礼をする)の正しい作法で、「うやまう」きもちをあらわしましょう。

浄土真宗では、合掌した両手の親指と人さし指の間に^{ねんじゆ}お念珠をかけて、胸の前にかまえます。お念珠なしでの合掌は、^{れんによ}蓮如上人(本願寺第8世)が「仏さまを手づかみにするようなもので、失礼なことだ」と注意しています。

これを機会に、みなさんも合掌のやり方について、あらためて勉強してみるといいですね。



だっこだっこあみだっこ は、毎月東山浄苑東本願寺で開催して

いる「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い - 仏法に親しもう 土に親しもう! - ってなあに？

毎月第3日曜日（行事等で変更の場合あり）に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。

また、花まつりでは、毎年こども法要をおつとめしています。

なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、

「いただきます」「ありがたい」の豊かなころを育てましょう。

乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。

お気軽にお尋ねください！



【活動日】 毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更

【場所】 東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日9:00
～17:00



LINE

LINE ID : oyakobuppou

LINEで参加申込が出来ます！興味のある方はお問い合わせ下さい。

— 参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内 —

6月16日(日)

10:00～12:00

【6月の言葉と目標】

かくこ
覚悟

—ほとけさまのおしえをよくきこう—

【活動内容】

にんにくの収穫

7月21日(日)

10:00～12:00

【7月の言葉と目標】

ろくどう
六道

—うまれた世界を知ろう—

【活動内容】

ピーマン、ズッキーニ収穫
こども盆灯会提灯づくり

【場 所】 東山浄苑東本願寺内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族 1回 1,000円（初参加無料！）

※参加ご希望の方は事前にお電話でお申し込みください。

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。
※雨天の場合は、写経体験や朱印帳づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに♪



親子仏法Instagram始めました！ アカウント名:amidakko

菜園や活動のようすを週2回程度アップしてます。

フォローして画面を提示するだけで参加費1割引♪(1家族1回のみ利用可)

だっこだっこあみだっこ 令和元年5・6月号

令和元年5月10日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山旭山町8-1 電話 075-541-8391 無料